

2022年度
事業報告書
(2022.4 - 2023.3)

(公財) 都市活力研究所

目次

事業の状況

【公益事業1】 産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー
（講座、セミナー、育成）

C. バイオメディカル研究会（講座、セミナー、育成）

D. バイオコミュニティ関西との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナーの実施（講座、セミナー、育成）

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際イノベーション会議「Hack Osaka」

（講座、セミナー、育成）（相談、助言）（表彰、コンクール）

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成

（講座、セミナー、育成）（調査、資料収集）

(2) 大学発シーズマッチングによる産学融合の推進

（講座、セミナー、育成）（相談、助言）（表彰、コンクール）

(3) 産業の振興のための産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

【公益事業2】 まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 1

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

(1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）

事業の状況

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. ライフサイエンス分野における産業の振興

ライフサイエンス分野において、大学等での有望な技術や研究テーマである創薬シーズの育成支援、創薬分野へのコンピュータの利用促進を図るための事業推進、技術経営プログラムの提供、さらに国際的な事業連携の課題等の調査を通じて、産業の振興を図る。

(1) 創薬シーズの育成

A. 創薬シーズ相談会（相談、助言）

創薬シーズを保有し事業化への意欲を持つ大学等の研究者からの相談に対し、産業界のニーズに精通した製薬企業の研究企画部門担当者が相談委員（22社31名）となり、研究開発の方向性について助言を行う。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続きオンライン開催とし、上半期1回を開催した。

大学から創薬シーズを収集するための広報活動は、医療系産学連携ネットワーク協議会（medU-net）の協力を得るとともに、当法人で実施したセミナー参加者にもメール発信した。

日程	シーズタイトル	シーズ相談者
8/30	全身性エリテマトーデスにおける免疫チェックポイント分子の有用性	福島県立医科大学附属病院 リウマチ膠原病内科学講座 助手 天目 純平
12/15	自己免疫疾患治療剤	国立精神・神経医療研究センター（NCNP）
3/2	唾液細菌叢による多発性硬化症の鑑別	国立精神・神経医療研究センター（NCNP）

(2) 創薬分野におけるコンピュータ利用の促進

A. インシリコ創薬支援事業（講座、セミナー、育成）

（特非）バイオグリッドセンター関西と協力し、パーソナルヘルスデータを活用した健康DXサービスを推進するための研究講演会を1回実施した。

タイトル	バイオグリッド研究会2022 —いのちかがやく未来社会のデザインに向けて 健康DXサービスの創出—		
開催日	5/28	参加者数	86名
主催	（特非）バイオグリッドセンター関西、バイオコミュニティ関西（BiocK）		
共催	当法人、大阪大学サイバーメディアセンター、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議		
プログラム	パネルディスカッション：健康DXサービスの創出に向けて		

:	<p>*司会：坂田恒昭（バイオグリッドセンター関西 理事、大阪大学共創機構 特任教授）</p> <p>*パネリスト：（50音順）</p> <p>奥野恭史 バイオグリッドセンター関西 理事（一社）ライフインテリジェンスコンソシアム代表理事、京都大学大学院医学研究科 教授</p> <p>下條真司 バイオグリッドセンター関西 理事長 大阪大学サイバーメディアセンター 教授</p> <p>坪田知巳 大阪府CIO兼スマートシティ戦略部長</p> <p>西水卓矢 阪急阪神ホールディングス（株）事業開発部 部長</p> <p>八木康史 （一社）データビリティコンソシアム 代表理事 大阪大学産業科学研究所 教授</p>
---	---

（一社）ライフインテリジェンスコンソシアム（LINC）と協力し、創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用（インシリコ創薬）を推進するための講演会を1回、LINCのプロジェクトの講演会を1回実施した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
5/11	分子動力学ソフトウェア「GENESIS」講習会 ー「富岳」を用いたハンズオンチュートリアルー	<p>【主催】一般社団法人ライフインテリジェンスコンソシアム</p> <p>【共催】当法人、NPO法人バイオグリッドセンター関西、理化学研究所生命機能科学研究センター</p> <p>13:00-13:10 連絡事項 13:10-13:30 GENESISの概要 13:30-14:20 GENESISでのMDハンズオン（前半） 14:20-14:35 休憩 14:35-15:15 GENESISでのMDハンズオン（後半） 15:15-16:00 フリーディスカッション</p> <p>講師：小林 千草（理化学研究所 計算科学研究センター 運用技術部門 ソフトウェア開発技術ユニット 技師） アシスタント： 信夫 愛（理化学研究所、生命機能科学研究センター、分子機能シミュレーション研究チーム研究員）</p>	20名
5/27	LINC講演会2022 - LINCが目指す創薬DXプラットフォーム- ビデオメッセージ 新AI戦略について 創薬DXの取り組み フリートークセッション「LINCが目指す創薬DXプラットフォーム」	<p>【主催】（一社）ライフインテリジェンスコンソシアム</p> <p>【共催】当法人</p> <p>14:00-14:03 経済財政政策担当大臣 山際大志郎 14:05-14:35 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局参事官 根本明生 14:40-15:10 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 寺坂忠嗣</p> <p>15:20-16:30 ファシリテータ 理事 中田 一人（日本電気株式会社） 代表理事 奥野 恭史（京都大学大学院医学研究科） 理事 水口 賢司（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所） 理事 本間 光貴（国立研究開発法人理化学研究所） 理事 朝生 祐介（第一三共株式会社） 理事 上島 仁（株式会社システム計画研究所）</p>	オンライン 197名

日程	タイトル	主催者等	参加者
		理事 谷村 直樹 (みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社) 理事 中嶋 久士 (株式会社エクサウィザーズ)	

(3) ライフサイエンス産業人材の育成

A. バイオ講座（講座、セミナー、育成）

・「ライフサイエンス・アントレプレナー入門塾 2022」

本講座はライフサイエンス分野において、事業開拓や起業に関心を持つ大学院生、大学・研究機関研究者、起業家を目指す若手研究者や企業の事業開発担当者を対象とした人材育成を目的とする実践講座で1年目となる。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を充分に行い3年ぶりに実開催した。5月から翌1月までの全9日間の講座で社会人10名が受講した。最終日には修了証授与式および交流会を開催した。

日程	タイトル	講師
第1日 5/28	入門塾オリエンテーション ①「リーダーシップの本質と実践」 ②「ライフサイエンスでの起業：Nexuspical 設立での経験」	神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 客員教授 株式会社ナティアス 研究開発部長 森 一郎 公益財団法人都市活力研究所 主席研究員 味村 和洋 ①FORESIGHT & LINX 株式会社 代表取締役社長 能見 貴人 ②Nexuspical 株式会社 代表取締役社長 増田 直之
第2日 6/18	③「産総研におけるマイクロバイオームの産業化に向けた取り組み」 ④「マイクロバイオーム創薬スタートアップ事例紹介-設立とテクノロジースカウティングの舞台裏-」	③国立研究開発法人産業技術総合研究所 生命工学領域 バイオメディカル研究部門 総括研究主幹 関口 勇地 ④日本マイクロバイオファーマ株式会社 代表取締役社長 慶応義塾大学医学部微生物学・免疫学教室 特任教授 塩田 淳
第3日 7/23	⑤「勃興するバイオエコノミーと岐路に立つ日本」～デジタル×バイオ時代の到来と神戸大学の挑戦～ ⑥【鼎談】神戸大学発バイオベンチャー新モダリティへの挑戦(司会：山本一彦)	⑤神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 教授 山本 一彦 ⑥神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科 教授 白川 利朗 ⑥株式会社バイオパレット 取締役 奥村 亮 ⑥株式会社シンプロジェン 取締役 山田 尚之
第4日 8/20	⑦「SDGsの世界感を体験するSDGsワークショップ」 ⑧「製薬産業におけるオープンイノベーション」	⑦一般社団法人インバウンド・ダイバーシティ協会 代表理事 今田 大介 ⑧塩野義製薬株式会社事業開発部 オープンイノベーショングループ 有岡 伸悟

日程	タイトル	講師
第5日 9/10	⑨「IT業界のメソッドに学ぶ経営戦略とマネジメント手法」 ⑩「グローバル化の壁：20%の仲間入りを果たす方法」 ⑪「産学官連携による事業創出に向けての取り組み」	⑨株式会社イー・インテリジェンス 代表取締役 中井 亮 ⑩独立行政法人日本貿易振興機構 神戸貿易情報センター 係長 川邊 裕 ⑪株式会社 COPEL コンサルティング 代表取締役 CEO 小島 ゆかり
第6日 10/15	⑫「事業化を目指す研究者のための特許と契約」 ⑬「医療機器開発の現状と課題」	⑫国立循環器病研究センター 産学連携本部長 浅野 滋啓 ⑬神戸大学 未来医工学研究開発センター 医学部附属病院 臨床研究推進センター 特命准教授 保多 隆裕
第7日 11/19	⑭「新規事業、スタートアップにおけるファイナンス戦略」 ⑮「核酸医薬品研究開発の動向」	⑭慶應義塾大学 総合政策学部 教授 保田 隆明 ⑮株式会社ナティアス 研究開発部長 神戸大学 科学技術イノベーション研究科 客員教授 森 一郎
第8日 12/17	⑯「デザイン思考」 ⑰「高齢化へ向けた「質」とナッジを用いたスマートセルフケアDX」	⑯神戸大学 V.School 准教授 祇園 景子 ⑰株式会社国際総合知財ホールディングス 代表取締役社長 九州大学 グローバルイノベーションセンター 客員教授 並木 幸久
第9日 1/21	⑱「名もなきパソコン少年が医療機器ベンチャーを起業して感じた人生において大切なこと」 ⑲「ベンチャースピリット」	⑱アットドゥズ株式会社 代表取締役 東洋大学大学院 経営学研究科 非常勤講師 中小企業診断士 中村 秀剛 ⑲株式会社創晶 代表取締役社長 安達 宏昭

・「Innovation Design Management」

アイデアを事業に育てるまでのマネジメント力の向上を目的とし、デザイン思考を用いた実践的なグループワークにてイノベーションを設計するプロセスを学ぶ講座として3日間開催した。

第1日 2/4	【ニーズを設定する】 ユーザーに対する「共感」からニーズを探索するプロセスを体験する	神戸大学 V.School 准教授 鶴田 宏樹 准教授 祇園 景子 滋賀医科大学 研究戦略推進室 産学連携部門 特任教授 松浦 昌宏 滋賀医科大学 創発的研究センター 特任助教 株式会社Medpreneur 代表取締役 高畑 翔吾
第2日 2/11	【ソリューションを設計する】 アイデア創出から具体的な製品・サービスを設計するプロセスを体験する	同上

第3日	【提供価値を検討する】	同上
2/18	新しい製品・サービスの提供価値を設定・検証するプロセスを体験する。	

B. 関西ライフサイエンス・リーディングサイエンティストセミナー (講座、セミナー、育成)

今年度で9期目となる本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を先導する関西の研究者を招き、最新情報の提供及び参加者同士の交流の場を提供することを目的としている。主催は当法人と近畿バイオインダストリー振興会議、共催はバイオグリッドセンター関西、後援は関西医薬品協会に加え、今年度よりバイオコミュニティ関西（BiocK）の協力を得て多方面にわたる関西の諸団体から支援を得て開催した。

日程	タイトル	講師	参加者
第32回 6/13	①工学的な臓器モデルの現状と課題、将来展望 ②生理活性合成化合物の新しい世界	①大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 教授 松崎典弥 ②京都大学化学研究所 教授/ 京都大学物質-細胞統合システム拠点 (WPI-iCeMS)副拠点長 上杉志成	95名
第33回 9/7	①QbDに基づく細胞製剤製造の現状と展望 ②ヒト多能性幹細胞由来オルガノイド作製と眼の再生医療への利用	①公益財団法人神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センター センター長 川真田 伸 ②大阪大学大学院医学系研究科 寄附講座 教授 林 竜平	174名
第34回 12/2	①感染症ワクチンの最適化に資する基盤技術構築 ②表皮の恒常性維持機構とその破綻の病態生理	①大阪大学先導的学際研究機構・微生物研究所 特任教授 吉岡 靖雄 ②神戸大学大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野 教授 久保亮治	67名

C. バイオメディカル研究会 (講座、セミナー、育成)

本研究会は、日本バイオインフォマティクス学会が主催し、健康・医療のデータサイエンスに関わる研究を取り上げて先端研究を紹介し、参加者と討論するセミナーである。当法人は事務局を担い、企画・運営に協力している。

日程	タイトル	講師	参加者
第32回 5/20	【最先端構造解析の現状と課題】 ①「構造情報の生物学における位置付けについて」 ②「クライオ電子顕微鏡の現状と可能性」 ③「Protein Data Bankの現状と課題」	①長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部 教授 白井 剛 ②大阪大学 蛋白質研究所 教授 加藤 貴之 ③大阪大学 蛋白質研究所	80名

日程	タイトル	講師	参加者
	<p>④「タンパク質間相互作用の理解と制御のための構造インフォマティクス」</p> <p>⑤「Undruggableな標的タンパク質は存在するのか？」</p>	<p>教授 栗栖 源嗣</p> <p>④東京工業大学 情報理工学院 助教 大上 雅史</p> <p>⑤ペプチドリーム株式会社 取締役副社長 舩屋 圭一</p>	
第33回 12/7	<p>【個人情報の扱いとデータ利活用】</p> <p>①「個人情報保護法の改正に伴う倫理指針の改正について」</p> <p>②「医療情報の取り扱いを巡るルールと実践」</p> <p>③「保険診療で行われるがん遺伝子パネル検査データの利活用」</p> <p>④「プライバシー保護データ解析技術とその応用」</p>	<p>① 厚生労働省 大臣官房厚生科学課 鈴木 和代</p> <p>② 京都大学医学部附属病院 医療情報企画部 教授 黒田 知宏</p> <p>③ 国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター 情報利活用戦略室 室長 河野 隆志</p> <p>④ 産業技術総合研究所 サイバーフィジカルセキュリティ研究センター 首席研究員 花岡 悟一郎</p>	94名

D. バイオコミュニティ関西との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

2021年7月に設立されたバイオコミュニティ関西（BiocK）は、内閣府「バイオ戦略2020」の普及啓発のためバイオ技術の社会実装を一般の方々に分かりやすく伝えるセミナーを開催している。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を務め、本セミナーに共催し、企画・運営を担い、活動の支援をしている。

日程	タイトル	講師	参加者
5/27	<p>バイオコミュニティ関西キックオフセミナー</p> <p>①「バイオコミュニティ関西への期待」</p> <p>②「バイオコミュニティ関西の挑戦」</p> <p>③「英国のバイオコミュニティからの学びとバイオコミュニティ関西に期待すること、日英連携の可能性」 ※英国からオンライン講演</p> <p>④「日米連携によるスタートアップ支援とバイオコミュニティ関西に期待すること」 ※米国からオンライン講演</p>	<p>①内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官 覺道 崇文</p> <p>②バイオコミュニティ関西(BiocK) 委員長 澤田 拓子</p> <p>③ダークブルーセラピューティック 取締役 アダージョセラピューティック 欧州代表 大阪大学 招聘教授 竹之下 泰志</p> <p>④MedVenture Partners 株式会社 取締役 CMO Stanford University Program Director (U.S.) of Japan Biodesign、Stanford Byers Center for Biodesign・Co-Director of Asia Region, SPARK Global, Stanford SPARK 池野 文昭</p>	298名
7/25	<p>BiocKシンポジウム 再生医療最前線～関西から世界へ～</p> <p>①「iPS細胞を用いたパーキンソン病治療」</p> <p>②「重症心不全に対する心筋再生医療」</p> <p>③「角膜再生医療の実現化に向けて」</p> <p>④「同種滑膜間葉系幹細胞を用いた軟骨再生 その実用化に向けて」</p> <p>⑤「再生医療の普及を支援する再生医療ナショナルコンソーシアムの活動について」</p> <p>⑥「細胞製造の未来」</p> <p>⑦「住友ファーマの再生・細胞医薬事業の取組状況」 ※オンライン講演</p> <p>⑧「網膜再生医療と医療側の準備」 ※オンライン講演</p> <p>パネルディスカッション</p>	<p>①京都大学iPS細胞研究所 所長・教授 高橋 淳</p> <p>②大阪大学大学院医学系研究科 特任教授 / 大阪警察病院 院長 澤 芳樹</p> <p>③大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学講座(眼科学) 主任教授 西田 幸二</p> <p>④大阪保健医療大学 教授 大阪大学国際 医工情報センター 招聘教授 中村 憲正</p> <p>⑤大阪大学大学院医学系研究科・医学部 附属病院 産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ 特任准教授 岡田 潔</p> <p>⑥大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻 教授(兼)工学研究科テクノアリーナ 細胞製造コトづくり拠点 拠点長 紀ノ岡 正博</p> <p>⑦住友ファーマ株式会社 代表取締役 専務執行役員 木村 徹</p> <p>⑧株式会社ビジョンケア 代表取締役社長 高橋 政代</p> <p>モデレーター：澤 芳樹 / 坂田 恒昭</p>	793名

日程	タイトル	講師	参加者
2023/ 3/9	<p>バイオ戦略トークセミナー 「ルール形成による 市場創出～国際的な標準化や制度構築の動向について～」</p> <p>①「国際的な標準化、ルール形成に関する活動について」</p> <p>②「標準化政策の動向」</p> <p>③「チームNITEの取組」</p> <p>④トークセッション「これからの国際市場創出、拡大における課題」</p>	<p>①吉田 耕太郎 ISO（国際標準化機構）CASCO（適合性評価委員会） 特別設置タスクフォース 国際エキスパート NITE企画管理部イノベーション支援課 課長</p> <p>②木井 保夫 経済産業省産業標準調査会基本政策部会 委員 NITE理事（バイオテクノロジー分野担当）</p> <p>③徳永 清徳 NITE企画管理部イノベーション支援課 専門官</p> <p>④モデレーター：坂田 恒昭</p>	
2023/ 3/27	<p>国際連携ウェビナー 「日本×英国（スコットランド）バイオフォトンクス先端研究最新情報 フォトンクス生命工学によるバイオ・医療分野での課題解決への挑戦」</p> <p>①「バイオコミュニティ関西（BioCK）の紹介」</p> <p>②「フォトンクススコットランド（テクノロジースコットランド）の紹介」</p> <p>③「Leveraging photonics for thermally responsive cancer nanomedicine」</p> <p>④「High-speed two-photon light-sheet fluorescence lifetime microscopy using ultrafast lasers and a time-correlated single photon counting array」</p> <p>⑤「多点同時ラマンプレートリーダー Multi-point simultaneous Raman plate reader」</p> <p>⑥「マイクロ流体デバイスを用いた感染症の迅速検出 Rapid detection of pathogens using microfluidic devices」</p>	<p>①坂田 恒昭 バイオコミュニティ関西副委員長兼統括コーディネーター</p> <p>②Dr A. McLeod フォトンクススコットランド（テクノロジースコットランド）</p> <p>③Dr C. Hoskins University of Strathclyde</p> <p>④Dr J. Taylor University of Glasgow</p> <p>⑤畔堂 一樹 大阪大学大学院工学研究科 特任研究員</p> <p>⑥永井 秀典 国立研究開発法人産業技術総合研究所 先進フォトンクス・バイオセンシングオープンイノベーションラボラトリ 副ラボ長</p>	126名

E. 次世代モダリティ研究所との共催セミナー（講座、セミナー、育成）

その他事業として事務局業務を担っているモダリティ研究所との共催により下記のセミナーを開催した。

日程	タイトル	主催者等	参加者
5/20	<p>第2回次世代モダリティセミナー ～次世代モダリティとしての mRNA～</p> <p>「挨拶/次世代モダリティ研究所の ご案内」</p> <p>「挨拶」</p> <p>「mRNA創薬の過去・現在・未 来」 「mRNAワクチンにおけるキャッ プ構造の重要性」 「mRNAの可能性の最大化に向け て」</p> <p>「パネルディスカッション」</p>	<p>【主催】NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究 機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサ イエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパ ン） 【共催】当法人 【協力】バイオコミュニティ関西（BiocK）</p> <p>特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・CBI研 究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏</p> <p>関西医薬品協会理事長 國枝 卓 氏</p> <p>東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体材料機能医学分野 教授 位高 啓史 氏 新潟薬科大学 客員教授 古市 泰宏 氏</p> <p>Dr. Chris Clark, Director, Scientific Leadership – APAC, Moderna モデルナ・ジャパン株式会社 代表取締役社長 鈴 木 蘭美 氏 座長：特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・ CBI研究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏 パネリスト：講師の先生方</p>	<p>オンライ ン630名</p>
8/4	<p>第3回次世代モダリティセミナー ～核酸医薬品への道～</p> <p>「挨拶」</p> <p>「遺伝暗号から核酸合成へ」</p> <p>「架橋型人工核酸を用いた核酸医 薬開発 ～最近の我々の組み 組みを中心～」 「遺伝子疾患に対する核酸医薬品 の創薬研究」 「パネルディスカッション」</p>	<p>【主催】NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究 機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサ イエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパ ン） 【共催】当法人 【協力】バイオコミュニティ関西（BiocK）</p> <p>特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・CBI研 究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏 関西医薬品協会理事長 國枝 卓 氏 北海道大学名誉教授・産総研名誉フェロー 大塚 榮子 氏 大阪大学大学院薬学研究科教授 小比賀 聡 氏</p> <p>第一三共株式会社 モダリティ研究所 主席 小泉 誠 氏 座長：特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・ CBI研究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏 パネリスト：講師の先生方</p>	<p>1184名</p> <p>大阪会場 28人</p> <p>オンライ ン 1156人</p>

11/16	<p>第4回次世代モダリティセミナー～CAR-T細胞治療の現在と未来～</p> <p>「挨拶」</p> <p>「血液がんに対するデザイナー免疫細胞療法」</p> <p>「アカデミアによる非ウイルス遺伝子改変CAR-T細胞の臨床開発」</p> <p>「CAR-T細胞製剤の製造現場から見た遺伝子・細胞治療の課題と展望」</p> <p>「パネルディスカッション」</p>	<p>【主催】NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン）</p> <p>【共催】当法人 【協力】バイオコミュニティ関西（BiocK） 特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏 関西医薬品協会理事長 國枝 卓 氏 大阪大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学 大阪大学免疫フロンティア研究センター(IFReC) 免疫細胞治療学 教授 保仙 直毅 氏</p> <p>信州大学医学部小児医学教室 教授 中沢 洋三 氏</p> <p>公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構 細胞療法研究開発センター センター長 医学博士 川真田 伸 氏</p> <p>座長：特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏 パネリスト：講師の先生方</p>	<p>952名</p> <p>大阪会場 31人</p> <p>オンライン 931人</p>
2023/2/13	<p>第5回次世代モダリティセミナー～VHH抗体医薬品の可能性～</p> <p>「挨拶」</p> <p>「VHH抗体創薬への進化工学的アプローチ」</p> <p>「VHH抗体の抗体配列進化追跡法によるin silicoスクリーニング」</p> <p>「VHHの創薬研究・開発」</p> <p>「パネルディスカッション」</p>	<p>【主催】NPO法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所 関西医薬品協会、LINK-J（一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン）</p> <p>【共催】当法人 【協力】バイオコミュニティ関西（BiocK） 特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏</p> <p>埼玉大学大学院 理工学研究科 教授 根本 直人 氏</p> <p>国立研究開発法人産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 研究部門長 萩原 義久 氏</p> <p>大正製薬株式会社 医薬研究本部 創薬技術研究室 室長 黒川智文 氏</p> <p>座長：特定非営利活動法人情報計算化学生物学会・CBI研究機構・次世代モダリティ研究所所長 大阪大学共創機構 特任教授 坂田 恒昭 氏 パネリスト：講師の先生方</p>	<p>803名</p> <p>大阪会場 29人</p> <p>オンライン 779人</p>

2. 起業家と起業マインドを育てるエコシステムの形成

起業家や起業支援者が集まり、新事業がふ化する魅力ある環境の形成を通じて、大阪の産業の振興を図る。

(1) 起業家人材の育成

A. 起業関連セミナーの実施（講座、セミナー、育成）

年に一度開催されるHack Osaka(2.(2)に記載)の間隔を埋める通年のイベント・セミナーとして、起業家の輩出と起業家のさらなる成長を促進し、また起業に関する知見を得たり、投資家等の支援者とのネットワークを広げることを目的に、「Fika Osaka」（スウェーデン語でコーヒータイムの意）を実施、コロナ禍を受けてオンラインでの開催を基本としつつ、一部オフラインでの開催も行った。

日程	タイトル	講師	参加者
6/30	【キックオフスペシャル!】リバースtalking feat.社内新規事業での失敗を経たオープンイノベーション担当者に迫る	阪急阪神不動産(株) 岡本 信秀氏	30名
7/14	U-25 kansai pitch contest vol.7 最優秀賞受賞! SDGsなマイボトル持ち込み型ドリンクサービ스에込められた思いとは?	古殿研究所 代表 大谷 諒馬氏	20名
7/27	CLUB STARTUP 2022@OSAKA FOOD LAB (オフライン開催)	(公財)都市活力研究所 廣谷 大地氏 (公財)大阪産業局/大阪イノベーションハブ(OIH) 安川 廉亮氏 他	53名
8/4	ウイルスの不活化に取り組む大学発スタートアップ!茶カテキンのパワーを活用したカテプロテクト技術とは?	株式会社プロテクトィア 代表取締役 田中 伸幸氏	30名
9/15	最終面接で落ちた就活生を他社に推薦できるサービス「ABABA」!サービス急拡大の秘訣と今後の展開とは?	株式会社ABABA 代表取締役 久保 駿貴氏	11名
9/29	日本と北米に拠点を持つハードウェアと製造業テックに特化したVC! Monozukuri Venturesが京都・梅小路でしかける製造業イノベーションとは?	株式会社Monozukuri Ventures 代表取締役 牧野 成将氏	14名
10/5	CLUB STARTUP 2022 @ QUINTBRIDGE	NTT西日本 イノベーション戦略室 QUINTBRIDGEオープンイノベーションプロデューサー 及部 一堯氏	30名
10/13	第23回cvg キャンパスベンチャーグランプリ 学生ビジネスプランコンテスト大阪大会 最優秀賞受賞! MAKITABA ~薪束売買マッチングプラットフォーム~とは?	MAKITABA 平井 康介氏	45名
10/27	仏壇をオンライン化! ? KSPGP2022オー	AfterConnect 山口 諒介氏	12名

	ディエンス賞受賞の同志社大学発スタートアップ・AfterConnectとは？		
11/17	京都府立大学発スタートアップ！ #ピオファーミング #食用昆虫 #環境循環アグリ の研究成果をビジネスに展開する未来食研究開発センターの挑戦とは？	未来食研究開発センター 増村 威宏氏	25名
1/19	誰もが成果をあげることができる社会の創造 に取り組む「Sales Navi」創業への思いとは？	株式会社Sales Navi 田中 大貴氏	12名
2/9	Hack Osaka 2023直前スペシャル！	都市活力研究所 吉田碧生	25名
3/9	【KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix 2023 開催報告会 vol.1】コツコツ毎日勉強することができる家庭教師プラットフォーム「take」に秘められた思いとは？	大阪府立大学生命環境科学域理学類3年 竹森 洸征氏	25名
3/16	【KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix 2023 開催報告会 vol.2】自宅で行う不妊治療サービス「homenin」が描く未来とは？	京都大学大学院 医学研究科 医学専攻 博士課程4年 後藤 和哉氏 京都大学大学院 医学研究科 医科学専攻 博士後期課程 3年 北 悠人氏 京都大学人間健康科学科3年 藤森 弥子氏	33名
3/23	Osaka Kansai Startup Forward -2022年度の振り返りと2023年度への展望-	Human Hub Japan 吉川 正晃氏	24名
3/29	CLUB STARTUP 2023 @ club STOMP	近畿経済産業局 イノベーション推進室 統括係長 津田 哲史氏	27名

※ファシリテーター GONENGO LLC:Xin Suzuki

(2) 世界の先進事例の紹介と海外へ向けた情報発信

A. 国際イノベーション会議「Hack Osaka」

(講座、セミナー、育成) (相談、助言) (表彰、コンクール)

2013年度より、大阪・関西における起業マインドを醸成し、地域起業支援コミュニティを活性化するため、海外のイノベーションへの取組みの先進的事例を紹介するとともに、国内外の起業家を対象としたビジネスプランコンテストや交流促進のためのイベント等の企画・運営を行ってきた。

近年は2025年の大阪・関西万博を視野に入れ、関西・大阪からの情報発信という観点に軸足を移しつつあり、今年度も大阪市・大阪産業局・日本貿易振興機構（JETRO）大阪本部と共に開催した。なお、コロナ禍のため、リアル会場での開催は3年ぶりであった。

【開催日】2023年2月21日（火）

【会場】ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター（一部同時配信あり）

【主催】国際イノベーション会議Hack Osaka実行委員会（大阪市、（公財）大阪産業局、（独）日本貿易振興機構、当法人）

【共催】大阪イノベーションハブ、大阪外国企業誘致センター、（一財）大阪国際経済振興センター

【当日会場来場者数】365名（申込者数810名）

【内容】

コンテンツ	テーマ、登壇者等	時間
Key Note Session	<ul style="list-style-type: none"> ■グローバルマーケットで戦う起業家のすすめ ○登壇者:庄野 裕介氏(株式会社 Warrantee) 	20分
Theme Session 1: 大阪・関西のエコシステム をアップデート	<ul style="list-style-type: none"> ■大企業病をスタートアップと解決する万博の使い方 ○登壇者:今村 治世氏(株式会社三菱総合研究所) 花岡 洋一氏(株式会社人間) 森下 浩充氏(パナソニックホールディングス株式会社) 	50分
	<ul style="list-style-type: none"> ■関西スタートアップエコシステムの今とこれから~How to be Greater Kansai~ ○登壇者:泉 友詞氏(フォースタートアップス株式会社) 川口 高司氏(一般社団法人京都知恵産業創造の森) 中村 奈依氏(公益財団法人大阪産業局) 齊藤 祐一氏(神戸市) 廣谷 大地氏(関西イノベーションイニシアティブ) 若松 知哉氏(株式会社 DENSE) 酒井 英樹氏(大阪公立大学) 海渡 未来氏(MBS アナウンサー) 	50分
Theme Session 2:	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪・関西がグローバルイノベーションハブになるには ○登壇者:ADAM CLAYDON-PLATT 氏(株式会社グローバル DX) Dr. Felix Moesner 氏(Consulate of Switzerland in Osaka) Fabian Tan 氏(Embassy of The Republic of Singapore) 大島 洋氏(Optibus Ltd.) 	40分
Theme Session 3:	<ul style="list-style-type: none"> ■Building a startup in Japan and fundraising market during downturns ○登壇者:Marwan Elfitesse 氏(Station F) Sam Ghiotti 氏(Habitto) Tina Cheng 氏(Cherubic Ventures) Russell Cummer 氏(Paidy Inc.) 	50分
	<ul style="list-style-type: none"> ■大阪・関西から世界を変えるイノベーション創出への期待 ○登壇者:齊藤 健一氏(Sozo Ventures) 	45分

コンテンツ	テーマ、登壇者等	時間
Theme Session 4:	南 知果氏(経済産業省) 坂本 教晃氏(東京大学エッジキャピタルパートナーズ) 高田 真紀氏(デロイト トーマツ グループ) ■日本企業と海外スタートアップの協業について ○登壇者:伊藤 彰倫氏(Docquity Holdings Pte. Ltd.) Indranil Roychowdhury 氏(Docquity Holdings Pte. Ltd.) 坂田 恒昭氏(バイオコミュニティ関西)	15分
グローバルピッチ コンテスト Hack Award 2023	■Future Society(豊かで安心した暮らしや持続可能な社会) ○内容:「クリーンテック」「フィンテック」「スポーツテック」か ら9社登壇	90分

なお、開催に先立ち、前日（2月20日）夜には前夜祭を大阪天満宮会館にて、開催後、当日夜にはアフターパーティをグランフロント大阪内世界のビール博物館にて開催した。

3. 産学融合による新産業創出システムの形成

大学と産業界が一体となりシーズや人材の育成を図るための事業を推進し産業の振興を図ることを目的として、「関西イノベーションイニシアティブ(Kansai Innovation Initiative)」を運営している。

本事業は2020年9月に経済産業省の「産学融合先導モデル拠点プログラム（J-NEXUS）」に採択され、当法人が代表幹事機関を務めている。今年度も未参画の大学への参画打診を行い、17大学から26大学へと事業開始時比約1.3倍に増加した。また、各大学への産学連携ヒアリング等による課題抽出（カルテ作成、窓口明確化等含む）を行っている。

(1) 大学と産業界をつなぐイノベーター人材育成プログラムの組成 (講座、セミナー、育成) (調査、資料収集)

● ECP-KANSAI

CxO人材と技術シーズのマッチングを目的に新たに発足するECP-KANSAIへの支援、及びKSII事業への産業界の人材受け入れの実施を中心に取組を推進する。主幹する大阪産業局との定期的な協議を行った。

● ハッカソンイベント

「データ利活用によるスマート社会の実現（PDA：データ駆動型アプリ工房）」では、都市データ利活用の一層の促進に向けて、データ活用アプリケーション人材の育成を目標とした取組を行った。5回シリーズのハッカソンイベントを共催した。

「データ利活用やってみよう!ハッカソン」

【主催】大阪公立大学

【共催】関西イノベーションイニシアティブ、

大阪スマートシティパートナーズフォーラム(OSPF)、

(一社)コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会(CSPFC)

日程	内容・サブタイトル	開催方法	参加者
9/3	キックオフイベント ～あなたのモヤモヤ解消します～	オンライン (Youtube) 会場 (QUINTBRIDGE 1階 メインステージ)	ページ閲覧者 : 2,599 登録者 : 98 Youtube視聴者 : 207
9/26	ワークショップ ～アプリのアイデアを研ぎ澄ませよう～	会場 (都市活力研究所セミナールーム)	ページ閲覧者 : 818 登録者 : 35
11/19	ワークショップ ～ノーコードツール"Glid"でデモアプリを作ってみよう～	会場 (QUINTBRIDGE 2階)	ページ閲覧者 : 729 登録者 : 38
1/28	ワークショップ ～アプリをブラッシュアップしてみよう～	会場 (QUINTBRIDGE 2階)	ページ閲覧者 : 446 登録者 : 38
3/18	発表会 ～アプリのフィードバックをもらおう～	オンライン (Youtube) 会場 (QUINTBRIDGE 1階 メインステージ)	ページ閲覧者 : 446 登録者 : 38 Youtube視聴者 : 47

(2) 大学発シーズマッチングによる産学融合の推進

(講座、セミナー、育成) (相談、助言) (表彰、コンクール)

KSACと協働しつつ、産業界との接点を活かしたアプローチをとることで、アカデミアと産業界の間のギャップを解消し、シーズとニーズのマッチング機会の創出拡大を目指し、産業界とのパイプの一層の強化（業界団体との結びつき強化や関係者のニーズ等を汲んだマッチングイベント/プログラムの実施等）や、大学発スタートアップ企業のプロモーション機会の創出（関係者を繋ぐデモの実施、万博出展関係者へのスタートアップ企業の紹介等）に取り組んだ。

日程	タイトル・主催共催等	内容	参加者
7/29	<p>関経連DXオープンイノベーションフォーラム2022 【主催】 関西経済連合会 【共催】 関西イノベーションイニシアティブ</p>	<p>DXをテーマとして、大学発スタートアップ企業及びシーズと産業界とのマッチングを図るイベントをKSIIとして共催。 【プログラム】 主催者挨拶 関経連ベンチャー・エコシステム委員会委員長 澤田拓子 第1部 企業紹介 企業プレゼンテーション7社（京大1社・阪大2社・奈良先端大2社・関大2社） 研究シーズ紹介 研究者3名（大阪公立大2名・京都府立医科大1名） 第2部 名刺交換会、個別相談会</p>	<p>参加者 約150件 （会場・オンライン） 個別相談 実施件数 14件 後日面談 調整件数6 名</p>
9/21	<p>京都大学 女性研究者産学連携ネットワークイベント「桂ジエネ」 【主催】 京都大学学術研究支援室、京都大学産官学連携本部 【共催】 関西イノベーションイニシアティブ、京都大学産官学連携本部、（公財）京都高度技術研究所 【後援】 （公財）京都産業21、（独）中小企業基盤整備機構近畿本部</p>	<p>女性研究者によるシーズ紹介等による起業マインド醸成と産学連携の場の構築を目的としたイベントをKSIIとして共催。京都大学工学研究科との直接的な関係構築を目指す。 【プログラム】 挨拶：榎木哲夫（京都大学大学院工学研究科 研究科長） 基調講演：渡辺 美代子(科学技術振興機構 シニアフェロー) 研究発表： ● 吉光 奈奈(京都大学 大学院工学研究科 助教) ● 片岡 奈々美(積水ハウス株式会社 総合住宅研究所) ● 樋口 ゆり子(京都大学 大学院薬学研究科 准教授) ● 寺本 華奈江(株式会社島津製作所 分析計測事業部 マネージャー) オープンディスカッション 展示での交流(会場のみ)</p>	<p>参加者数 73名 （本会場19名、 オンライン参加54名）</p>

9/27	<p>大阪・京都・神戸商工会議所×KSII U-START UP 大阪・関西万博</p> <p>【主催】大阪商工会議所、関西イノベーションイニシアティブ</p> <p>【共催】京都商工会議所、神戸商工会議所、都心型オープンイノベーション拠点「Xport」</p> <p>【後援】大阪京都ひょうご神戸コンソーシアム、近畿経済産業局、(公社)2025年日本国際博覧会協会</p>	<p>大阪商工会議所とともに、アーリー期を中心としたアクセラレートプログラムを開催し、産業界へのPRやメンタリング等の支援を行った。</p> <p>グローバルイノベーター賞受賞者にCES2023の出展権を付与し、スタートアップ企業の海外事業展開を支援した。書類選考を通過した大学発スタートアップ9社によるオープンピッチを実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PGV株式会社 2. 株式会社アルガルバイオ 3. 株式会社インターメディア研究所 4. 株式会社スクリエ 5. 株式会社セツロテック 6. 株式会社DENSE 7. パワーアシストインターナショナル株式会社 8. 株式会社PITTAN 9. 炎重工株式会社 <p>【グローバル・イノベーターズ賞】 受賞：株式会社インターメディア研究所 副賞：「CES2023」への出展権</p> <p>【ナレッジキャピタル賞】 受賞：株式会社PITTAN 副賞：ナレッジサロン会員 コラボオフィスnx 1年間利用権</p>	
11/24 11/25	<p>第2回Challenge万博『いのち輝く未来社会』へ</p> <p>【主催】関西イノベーションイニシアティブ(KSII)、三井住友銀行</p> <p>【共催】池田泉州銀行、京都銀行、りそな銀行、関西みらい銀行、みなと銀行、紀陽銀行、滋賀銀行、但馬銀行、南都銀行、日本政策投資銀行、三井住友信託銀行</p> <p>【後援】経済産業省、近畿経済産業局、(公社)関西経済連合会、(一社)関西経済同友会、大阪商工会議所、京都商工会議所、神戸商工会議所、(公財)大阪産業局、(一社)京都知恵産業創造の森</p>	<p>大学間ネットワーク形成に向け、大学・国研等に属する26の全企画機関に参加を呼びかけ、22大学が参加。</p> <p>首都圏をはじめとした全国の企業関係者等へ関西の大学発スタートアップ・シーズの魅力を発信することで、シーズやスタートアップと企業とのマッチングによる産学共創を推進。</p> <p>東京丸の内にて開催</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関西を代表する22の大学が、最先端の技術やビジネスモデルを持ち寄り、新たなオープンイノベーション/産学連携を生み出すマッチング&セミナー・ピッチ・デモ展示を実施。 ●各大学一押しのおすすめの紹介動画を掲載したスペシャル動画サイトをKSIIホームページ上に開設 ●参加者・視聴者の希望に応じて、個別面談をセッティング <p>【参加大学】 大阪医科薬科大学、大阪工業大学、大阪公立大学、大阪大学 関西大学、関西学院大学、京都芸術大学、京都大学、京都府立医科大学、京都府立大学、近畿大学、奈良先端科学技術大学院大学、神戸大学、滋賀医科大学、滋賀県立大学、摂南大学、同志社大学、奈良県立医科大学、兵庫県立大学、立命館大学、龍谷大学、和歌山大学</p> <p>【協力】(公社)2025年日本国際博覧会協会、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)、バイオコミュニティ関西(BioCK)</p>	<p>参加者数：</p> <p>11月24日 現地124名 オンライン135名</p> <p>11月25日 現地71名 オンライン114名</p> <p>スペシャル動画サイト閲覧者数873名</p>
12/2 12/9 12/23	<p>関西6大学発 農業系研究シーズ/共同研究/ベンチャーの現状と未来</p> <p>【主催】関西イノベーションイニシアティブ(KSII)、京大オリジナル</p> <p>【共催】京都大学産官学連携</p>	<p>関西の農業系学部等を有する6大学による、農林水産関連のシーズについて食のバリューチェーンからアプローチするシンポジウムを3日間開催。(オンライン)</p>	<p>オンライン参加者数155名</p>

	<p>本部</p>	<p>12/2「持続可能な生産体制」 講演1「みどりの食料システム戦略-生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する-」 農林水産省 大臣官房みどりの食料システム戦略グループ 地球環境対策室 課長補佐(国際班担当) 古田 恭子 講演2「ガス交換観測による森林の炭素動態の実態解明」 京都大学 白眉センター 特定助教 坂部 綾香 講演3「SDGs駆動型都市農業への挑戦」 大阪公立大学 農学研究科 教授/農学部附属教育研究フィールド フィールド長 横井 修司 講演4「地域特有の生態系資源を活用した農業の実践～『土着の菌』がもつ地産地消/脱農薬資材としてのポテンシャル～」 京都大学発ベンチャー/Sunlit Seedlings株式会社 代表取締役 石川 奏太</p> <p>12/9「持続可能な加工・流通システム」 講演1「機械学習と分光分析を用いた農畜産物の非破壊品質評価」 神戸大学 大学院 農学研究科 准教授 黒木 信一郎 講演2「就農者と消費者間での有益な情報収集のためのシステムの構築とその活用」 近畿大学 工学部 准教授 加島 智子 講演3「天然氷結晶制御エキスによる農産物生産及び保存技術イノベーション」 関西大学発ベンチャー/株式会社KUREi (カレイ) CTO 兼 関西大学 化学生命工学部 教授 河原 秀久</p> <p>12/23「持続可能な調達・消費」 講演1「地産地消型エネルギーシステムの構築に向けた基礎研究～システム工学とデータ応用の視点から」 京都大学 工学研究科 准教授 薄 良彦 講演2「食品加工残渣を活用したバイオコークス製造」 近畿大学バイオコークス研究所所長教授 井田 民男 講演3「自然栽培と食用昆虫を組み合わせた環境循環型アグリシステムの構築」 京都府立大学発ベンチャー/未来食研究開発センター株式会社 取締役 兼 京都府立大学 大学院 生命環境科学研究科 准教授 武田 征士</p>	<p>オンライン参加者数 115名</p> <p>オンライン参加者数 116名</p>
<p>1/27</p>	<p>都市農業シンポジウム：「都市農業」からの新産業創造～農学×情報学の視点から～ 【主催】大阪公立大学 【共催】関西イノベーションイニシアティブ、(公財)都市活力研究所 【後援】大阪府、三井住友銀行、NPO 法人近畿バイオイノベーション振興会議、バイオコミュニティ関西 【協力】(公財)大阪産業局、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)</p>	<p>SDGsに代表される社会課題解決に向けて、人・エネルギー・情報・廃棄物等が集積し、消費の一大拠点である都市で農業生産を行う「都市農業」の提案と「都市農業」に最先端の「情報学」を組み合わせることで期待される新産業創造の可能性を議論した。 第1部 講演 <基調講演>「都市農業」 横井修司 大阪公立大学 大学院農学研究科 教授 <招待講演>「マーケットイン農業」 宮地誠 (株)Happy Quality 代表取締役 <招待講演>「工学技術からスマート農業へのアプローチと社会実装ー5Gドローンによる 農作業支援と未来展望ー」 平栗健史 日本工業大学 基幹工学部電気電子通信工学科</p>	<p>参加者 37名 (会場) 122名 (オンライン)1・</p>

	、大阪イノベーションハブ (OIH)	<p>教授/(株)エーキューブ 代表取締役社長</p> <p>第2部 パネルディスカッション テーマ 「都市農業」その先に見えるもの <モデレータ> 阿多信吾 大阪公立大学 大学院情報学研究科 教授 <パネラー> 宮地誠 (株)Happy Quality 代表取締役 平栗健史 日本工業大学 基幹工学部電気電子通信工学科 教授/(株)エーキューブ 代表取締役社長 早見直美 大阪公立大学 大学院生活科学研究科 講師 原田行司 大阪府環境農林水産部 部長 横井修司 大阪公立大学 大学院農学研究科 教授</p>	
1/4～ 2/28	<p>関西バイオビジネスマッチング2022</p> <p>【主催】 バイオコミュニティ関西 (BioCK)、近畿バイオインダストリー振興会議</p> <p>【共催】 関西イノベーションイニシアティブ (代表幹事機関：当法人)、関西医薬品協会、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)</p> <p>【協力】 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構、京都リサーチパーク株式会社</p>	<p>【概要】 バイオ技術分野を対象としてオンラインビジネスマッチングイベントを開催した。全国から参加者を募集し、シーズ情報およびニーズ情報を交換し合うことによりマッチングの機会を創出し、オンラインで実施した。</p> <p>【目的】 バイオ技術分野において、企業および大学等有するシーズとニーズのマッチングの活性化を図ることにより、バイオ関連産業における新たなイノベーションを誘発し、新規事業創出に寄与するとともに、産学連携の推進、大学発ベンチャーの創出支援の場としても活用すること。</p> <p>【参加費】 一般：2万円、主催・共催団体の会員：無料</p> <p>【特徴】 本事業はバイオ技術分野全般を対象としたオンラインマッチングイベントである。関西イノベーションイニシアティブ (KSII)、京阪神スタートアップアカデミア・コアリション (KSAC)、大阪・京都・ひょうご神戸コンソーシアム、関西医薬品協会との共催のもと、関西全体の産学官共同イベントとして実施した。2ヶ月間の面談期間を設けており、全国の産学官から多くの参加を得て数多くの面談が実施された。</p>	<p>【参加企業数・人数】 ブース数：115 (企業：95、アカデミア：16、その他：4) 参加者数：224名 (企業：180、アカデミア：33、その他：11) ピッチ：29 社登壇 商談数：381件</p>
2/21	<p>第3回うめきた響合の場</p> <p>【主催】 関西経済連合会、関西イノベーションイニシアティブ</p>	<p>大企業・大学・支援機関等が縁日の“出店(でみせ)”のように集まり、そこにスタートアップ等の皆さまがアイデアや相談を持ち込むことで、新たなイノベーション創出につなげることを目的とした。</p> <p>10：00～12：00 個別マッチング 最大4ターム (1社あたり25分・入替5分) 13：00～16：30 個別マッチング 最大5ターム (1社あたり25分・入替5分) 出店機関によるミニセミナー (AM1回、PM2回) 開催</p>	<p>14企業、6大学、7つの自治体や支援機関が出店。 面談マッチング数約120件</p>
3/16	<p>Fostering桂</p> <p>【主催】 京都大学学術研究展開センター (KURA)、京都大学工学研究科</p> <p>【共催】 京都市、関西イノベーションイニシアティブ、京都高度技術研究所、京都大学産学連携本部</p>	<p>社会課題解決のための相互議論の場を提供し、大学および起業若手研究者ネットワーク構築への貢献を図った。</p> <p>13:30～17:00 話題提供 研究発表 展示</p>	<p>本会場 21名 オンライン 21名</p>

(3) 産業の振興のための産学融合拠点のあり方の研究（調査、資料収集）

産学融合のネットワークハブとなるような物理的な拠点について、その求められる機能や仕組みについて調査・検討しつつ、一部の機能については先行してトライアル実装を行う。

- 技術シーズデータベース
企業や起業家が、大学発の技術シーズを一括して閲覧・検索することが可能となることで、技術シーズ情報の活用促進を図るため、昨年度から参画主要大学の技術シーズ情報を登録して技術シーズデータベースを作成しており、今年度も着実に掲載大学・シーズを拡大している。
- 産学融合拠点創出会議
関西における産学融合拠点のビジョンを具体化するため、産学官金各界のキーパーソンによる会議体を立ち上げ、今年度は3回開催した。

	実施日時	内 容
第1回	2022年10月20日	・ 関西における産学融合拠点のあるべき姿や、その創出に向けた課題ならびにKSIIの果たすべき役割
第2回	2022年12月13日	・ 拠点運営や起業家育成に向けて取り組むべき課題や、あるべき姿 ・ U-FINOとの連携、京阪神の連携による価値創出やその中でKSIIが果たすべき役割
第3回	2023年2月1日	・ 関西全体での取り組みの必要性や、大学および産業界のニーズを踏まえた行政への提言による資金確保の必要性

【公益事業2】まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 都心まちづくり等のあり方に関する調査研究

新しいまちづくりのあり方について産学官で議論する場をつくり、今後の新しい方向性の提言等により、新しいムーブメントの醸成に寄与する。

(1) UIIまちづくり研究会（調査、資料収集）

大阪都心部の活性化に向けて、これからのまちづくりのあり方を研究する研究会を設置し調査研究を行っている。

今年度は、大学との共同研究1件を含み計4件の研究を実施しており、テーマは次の通りである。

○（継続テーマ）サステナブルなまちづくりに関する調査研究

産学官から、大阪都心及びその近郊の中長期的なあり方を考えるうえで鍵を握るメンバーを集め、情報・意見交換の場を設けた。そのなかで、まちづくりの最新動向に関する話題の提供を行い、サステナブルなまちづくりのための課題を抽出し、解決の方向性を見出す活動をしている。

今年度も、学識経験者、公共団体等の中堅層、経済界などへの研究会参加の依頼を行い、研究会を4回開催した（メンバー23名）。

日程	タイトル	講師
6/30	「持続可能な都市構造」の実現に向けた 京都市のまちづくり リーマンショック後のオフィス移転から 見た大阪都心の変容と コロナ・パンデミック後の変容を 踏まえたオフィス利用・選択・開発	京都市 都市計画局 都市計画課 調整担当課長 阪本健 大島コンサルティング・オフィス 代表 大島洋一
9/8	大阪都市計画局と新しいまちづくりグラ ンドデザインについて 「夢洲コンストラクション」から始まる 関経連の夢洲まちづくりへの取り組み	大阪府 大阪都市計画局 副理事（調整担当） 進士肇 公益社団法人関西経済連合会 産業部 前林ダニエル慎吾
12/9	ウェルビーイングにむけた都市・交通計 画～時間資本、健康資本と場所づくり～	大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 交通・地域計画学 教授 土井健司
2/27	オールドニュータウンにおける交通問題	大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 社会基盤工学コース 助教 葉健人

○（継続テーマ）地域とまちづくりビジネスのマッチングに関する研究

近年、まちづくりに資する新しいビジネスが生まれつつあるなか、地域の資源や課題を的確に把握してマッチングすること、及びそれをコーディネートする組織が求められるようになってきている。また、地域とプレイヤーをつなげることは、さらなるプレイヤーを創出させる効果も期待できるほか、地域住民のまちづくりに積極的に関わる意欲を増進することにつながる可能性がある。そのために、地域においてどのような調査を行い、いかにまちづくりを進めていくかについて、先進事例やケーススタディを通じてその手法を考案してきた。

今年度は、昨年度に引き続き大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻加賀研究室と共同研究を実施した。

概要	<ul style="list-style-type: none"> ・不動産会社を対象にしたまちづくりビジネスのアンケート分析 ・市民アンケート調査 ・成功するまちづくりビジネスのための組織・仕組み・地域連携の促進案 ・まとめ
----	--

○（継続テーマ）コミュニティ活動を通じた地域文化資源発見

従来の発想にとらわれない新しい視点での地域文化資源を定義・抽出・編集することにより、大阪の「キタ」エリアの魅力を語るストーリーを導き出すとともに、まちを使いこなす人材を育成することを目的に、今年度も「キタ再発見の会」を開催している。リアルとオンラインにて3回実施した。

※コーディネーター（一社）うめらく 代表 山田摩利子

日程	タイトル	講師	参加者
9/13	楽しくをカタチにする地域の場づくり・豊仁地域	大阪市北区地域振興会 会長 兼 豊仁地域活動協議会・連合振興町会 会長 岩岸敏雄 大阪市青少年指導委員連絡協議会 副会長 兼 北区青少年指導委員連絡協議会 会長 森田謙	24名
2/21	地域ぐるみでつくる顔の見える関係人口・西天満地域	西天満連合振興町会 会長 亀井 一郎	18名
3/29	まちの変化と共に進化する地域・済美地域	済美連合振興町会 会長 南 順之介	24名

○（継続テーマ）地域課題の発見及び解決のための人材育成手法の研究

SDGs やSociety5.0といった社会やまちづくり変革のキーワードが浮上するなか、大阪府を中心に関西における社会環境の変化－少子高齢化、コミュニティ等の地域力の低下、防災、外国人受け入れ増加、地域活性化 等－に対応しうる人材を育成するための研究を実施してきた。

当法人と（特非）Co.to.hanaとの共同研究として、過年度に実施した人材育成講座の成果をとりまとめるため、インタビュー記事（6本）及びインタビュー動画（1本）を作成した。

（2）U11まちづくりフォーラム（講座、セミナー、育成）

まちづくり分野の新たな施策・制度や動向を紹介するセミナーを、6回実施し、大阪府を中心に関西の都市が抱える課題や解決の方向性について、様々な視点から議論を深めた。

日時	タイトル	講師	参加者
6/28	ソーシャルビジネスを地域インフラに～株式会社御用聞きの挑戦	株式会社御用聞き 代表取締役 古市盛久	111名
9/7	SDGs未来都市の構想と推進方策を考える～能勢町における取り組み事例から	能勢町 総務部 総務課 政策推進担当 係長 矢立智也 株式会社能勢・豊能まちづくり 代表取締役 榎原友樹 能勢なつかしさ推進協議会 里山技塾運営担当 伊藤雄大 大阪大学大学院工学研究科 地球総合工学専攻 社会基盤工学コース	102名

		助教 葉健人	
12/22	住民参加のスマートシティの作り方～豊能町における取り組み事例から	豊能町 まちづくり創造課 課長補佐 大石 登紀子 一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会 代表理事 江川 将偉 一般社団法人とよのていねい(親会社 大学堂株式会社 代表取締役) 宇都宮 正宗 GONENGO LLC Founder/CEO Xin Suzuki	100
1/20	オフィス移転から見たリーマン・ショック後10年の変容のモデル化とポスト・パンデミック時代の関西でのオフィス利用・選択・マーケティング	大島コンサルティング・オフィス 代表 大島 洋一	72
2/9	これからのソーシャルデザイン (副題) すべては1人からはじまる～「ソース原理」の力とは～	場づくりの専門集団NPO法人場とつながりラボhome's vi 代表理事 嘉村賢州 聞き手:丸毛 幸太郎 (コミュニティデザイナー)	127
2/24	これからのソーシャルデザイン (副題) まちづくりのためのソーシャルデザイン	HITOTOWA INC. 執行役員 奥河 洋介 株式会社いきいきライフ阪急阪神 代表取締役 石原 敏孝 聞き手:丸毛 幸太郎 (コミュニティデザイナー)	

(3) UIIまちづくりレターの配信 (調査、資料収集)

まちづくりに係わる様々な話題や動向を調査して、レター形式で情報を配信するもの。今年度は11回配信した。

日時	タイトル
8/26	ソーシャルビジネスを地域インフラに～株式会社御用聞きへの挑戦
10/31	里山未来都市の実現へ～多様な地域アクターと共に～
	エネルギーを軸にしたまちづくりへの挑戦
	「小さな百姓」養成塾 里山技塾
	高校生が主体となり考えるe-bikeの活用についての取り組み
2/7	Social Mirai Design 受講生インタビューレポート
3/16	十三× JUSO CROSS 淀川編
3/27	誰一人取り残さない社会の実現に向けて～持続可能なまちを目指して～
	スマートシティを支えるエコシステムとシステム構築
	小さな町で始めるインクルージョンの可能性～よろず相談所・スマホサロン～
	住民参加のスマートシティの作り方～豊能町における取り組み事例から～パネルディスカッション

2. 鉄道沿線まちづくりに関する調査研究

大都市近郊部の高齢化や人口減少等の課題に対応するため、鉄道の駅を中心としたコンパクトなまちづくりを目指し、鉄道沿線価値の維持・向上に向けた調査研究を行い、提言につなげる。

(1) 都心近接エリアにおける鉄道沿線まちづくりに関する研究（調査、資料収集）

● 十三デザイン・プロジェクト

近未来（2040年）を念頭に置き、十三エリアにおいて目指すべきまちづくりの方向性を提案する手がかりとなる魅力や展望、課題を抽出し、開発の方向性について考察している。今年度は、関西大学との共同研究と、十三のイメージや知名度のアップに向けた情報発信イベント「十三× JUSO CROSS」を2回開催した。

関西大学との共同研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・十三のブランド・イメージに関する調査 ・十三のブランド資産の発掘 ・十三に関するブランド・イメージの拡散
--------------	---

「十三× JUSO CROSS」の開催状況

11/2 (収録)	十三× JUSO CROSS 淀川編	国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所長 波多野真樹 水都大阪コンソーシアム 事務局長 松井伊代子 大阪公立大学大学院 工学研究科 准教授 吉田長裕	YouTubeで配信
3/11	十三× JUSO CROSS ストック活用編	近畿大学建築学部 准教授 寺川 政司 株式会社レッドカーペット 代表取締役 栞山 純也 株式会社NEWPARKPROJECT 取締役 川神 篤史	46名

● 都市住宅学会との共同研究

都心近接エリアにおいて空き家の発生などが見込まれる地域の賃貸業（大家）支援とストックリノベーション促進によりブランド向上を図るための研究を行っている。今年度は「私の資産をまちの資源に」をテーマにセミナーを4回実施した。

11/5	二代目オーナーのための建物活用術	太田翔（株式会社OSTR） 船橋耕太郎（コムウト） 末村巧（合資会社マツシティ） コーディネーター 岡絵理子（関西大学）	23名
11/26	シャッターを開けて気付いた、空間のチカラと所有者の思い	小林牧子（合同会社ココデザイン） 田村康一郎（株式会社クオル） 小倉宏史（カフェ Kininalu） コーディネーター 荻巣友貴（生駒市役所）	29名
1/21	空き家・空き地を活用した地域共生の拠点づくり ～豊中のコミュニティソーシャルワーカーの実践から～	勝部麗子（豊中市社会福祉協議会） コーディネーター 神吉優美（奈良県立大学）	27名
1/28	エリアの魅力をアップする、お宝物件の育て方	若狭健作（㈱地域環境計画研究所） 三誠由希子（古書みつづみ書房） 宮崎健一（杭瀬地域まちなか再生協議会） コーディネーター 相馬美津子（尼崎市役所）	42名

3. まちの国際化に関する調査研究

大阪を中心に関西で増加する外国人観光客をはじめ、海外から来阪するビジネスマンや外国人居住者に着目し、地域を活性化するうえで欠かせない大阪のまちの課題を調査研究する。

(1) エリアMICEの推進に関する調査・研究（調査、資料収集）

2018年より開催してきたエリアMICE研究会の活動実績を報告書としてまとめ、報告会を開催（6/10）した。

概要	<ul style="list-style-type: none">・活動実績の振り返り・エリアMICE先進事例の調査・MICE主催者等へのヒアリング・梅田エリアの現状と今後への提言
----	--

【その他事業】産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. 創薬関連プロジェクトの推進支援

大阪の地場産業である製薬業界の振興のため、非競争領域における創薬の基盤技術の普及や促進のための活動を支援する。現在は、コンピュータやヒト細菌叢（マイクロバイオーーム）の利用促進に関する活動を支援している。

(1) (特非) バイオグリッドセンター関西の運営支援

文部科学省ITプログラム「スーパーコンピュータネットワークの構築」（バイオグリッド・プロジェクト）として、2002年より2006年の5年間実施したプロジェクトを母体に、その研究成果の産業利用を目的に2004年に設立された。情報技術とバイオ、医療の融合分野における研究開発及び教育普及活動を行っている。

当法人は、2004年度設立時より事務局業務を受託し、今年度も運営を支援中である。

○事務局運営

第19回総会（5月28日）並びに研究会をはじめ、バイオ研究者や製薬企業・ICT・バイオ関連企業関係者の交流事業やプロジェクトを運営した。

○バイオグリッドHPCプロジェクト（KBDDプロジェクト）

2012年度より、創薬にスーパーコンピュータを活用するプロジェクトとして活動している。参画者は、4/1現在、製薬企業15社、IT企業2社、アカデミア・国研等10機関である。活用しているスーパーコンピュータは、富岳（無料産業利用枠）である。当法人は事務局として運営を支援している。

(2) (一社) 日本マイクロバイオーームコンソーシアムの運営支援

本法人は、当法人主催の研究会を端緒とし、製薬や食品業界を中心として2017年に設立された企業コンソーシアムで下記の研究開発を行っている。内閣府SIPは今期5年間のプロジェクトが完了した。AMED事業は6年間のプロジェクトの2年目を順調に終えた。

プロジェクト名	概要	委託元
食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献 (内閣府SIP)	軽度不調評価法開発、腸内マイクロバイオーームの解析プロトコルやデータの解析を通じての健常人データベース開発	農業・食品産業技術総合研究機構（NARO）
次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業	腸内マイクロバイオーーム制御による次世代創薬技術の開発 ～マイクロバイオーーム創薬エコシステムに向けて～	日本医療研究開発機構（AMED）

(3) バイオコミュニティ関西の運営支援

本団体は、2021年7月、内閣府のバイオ戦略に基づき、バイオエコノミー社会の実現を目標として設立された。当法人はNPO法人近畿バイオインダストリー振興会議と共に事務局を担い活動を支援している。2022年4月、内閣府よりグローバルバイオコミュニティの認定を受け、分科会が23、連携機関が80を超えて展開している。全国のバイオコミュニティ8団体での意見交換会を全国初で開催した。展示会出展や英文サイトなどを通じて国内外への情報発信にも注力している。

(4) 次世代モダリティ研究所の運営支援

低分子に代わる製薬の新しいモダリティ（様式）として、抗体、核酸、細胞治療などが注目を集めている。これらは従来の創薬手法ではないアプローチが必要で、化学メーカーなども非常に興味を持っている。新しいモダリティのあり方を、化学メーカー、製薬メーカー、バイオベンチャーなど巻き込んで技術課題やビジネスの在り方を研究するため、特定非営利活動法人情報計算化学生物学会（CBI学会）の傘下のCBI研究機構内に次世代モダリティ研究所を設立し、その事務局として運営支援を行っている。

2. エリアマネジメント活動の支援

公益事業2において調査・研究したまちづくりのあり方の方策を実践に移すため、主に都心部におけるエリアマネジメント団体等の諸活動を支援している。

(1) 梅田地区における案内所業務への支援

都心部における案内サービスのあり方を検討するとともに、各案内所で共通で利用できるツールの作成を通じて案内所業務への支援を行っている。

今年度は、全体的な情報の把握と整理が必要なもの（バスのりば案内、鉄道路線図、金融機関等）のマップと詳細情報リストを4回更新作成し、各案内所に配布した。

(2) 大阪エリアマネジメント活性化会議の事務局支援

大阪市と市内エリアマネジメント8団体で構成する会議で、大阪市内におけるエリアマネジメント活動の活性化に向けたアクションプランとガイドラインの策定を目指し、2016年度に発足した。

今年度は公益性の創出に向けて、11団体が連携して取り組むことができる活動を行うとともに、大阪エリアマネジメント活性化ガイドラインの充実を図る。今年度は本会2回、部会7回の運営を支援した。

日程	内容
7/14	合同部会
8/5	第13回大阪エリアマネジメント活性化会議
9/9	安全・安心部会
9/29	合同部会
11/11	安全・安心部会
12/21	合同部会
12/23	安全・安心部会
1/17	安全・安心部会
3/24	第14回大阪エリアマネジメント活性化会議

3. (公社) 都市住宅学会関西支部の運営支援

日本の都市住宅・居住学について、社会、経済、技術、文化等の横断的な領域にまたがる学際的な学会で、1992年に設立された。関西支部においては、公的住宅団地、子育て環境、超高層住宅のあり方や、鉄道駅を中心としたコンパクトなまちづくりに関する調査研究を実施している。

当法人は、2015年より事務局業務を受託し、今年度は総会1回・常議員会6回のほか、関連セミナー1回の運営を支援した。

4. 大学技術シーズを活用したゼブラエコシステムの形成

公益事業1で実施する「関西イノベーションイニシアティブ（KSII）」事業を補完し相乗効果をあげるため、次のような事業を実施した。

ゼブラをいち早く創出するために、産業界や金融界の専門的有識者に対してマッチングさせる等、カスタマイズ型の支援を行うことで、産学共創を加速度的に推進させる。

- スタートアップ企業の各種調査支援

KSIIの今年度活動として掲げている「ゼブラ創出に向けた活動を通じたエコシステムの構築」および「大学の研究シーズの社会実装に向けた支援」に関し、その推進内容に包含される土業相談や市場調査の支援は、企業の販路拡大や企業成長の重要なステップとなる海外進出や進出市場の見極め、エグジットにおいて特に重要と考えており、当該分野に特化したシンクタンクへの市場調査や有識者のレポートینگ4件実施した。

このような市場調査プロセスをKSIIとして学ぶと共に経験豊かな専門家とのパイプを構築することで、その経験を今後のゼブラ創出活動に活かしている。

企業名	調査支援項目
イムノセンス	バイオマーカー臨床ニーズ調査
大阪公立大学工業研究科 立花太郎教授	すい臓がん治療用抗体医薬品および診断薬のニーズ調査
幹細胞&デバイス研究所	米国大学・研究機関やサイエンティストの関心や研究動向等の調査
ミツフジ	新規上場に向けた財務管理体制及び資本政策についての情報提供・助言

- スタートアップ紹介動画の作成

公益事業1で実施した「第2回Challenge万博」に参加する大学発ベンチャーの事業を紹介する動画を計12本作成した。

大学名	企業名	事業内容
大阪工業大学	ゆいまーるイノベーション	分散センサ・AIによる人流検知システム
大阪公立大学	三谷電池	新種の蓄電池
大阪大学	エスケーフライン	セラミック造形3Dプリンター
関西大学	ORAM	メカトロ・センシング・遠隔/自動化
京都大学	マリ	睡眠時無呼吸症候群に対するソリューション
神戸大学	TearExo	涙を利用したがん検出
滋賀医科大学	Medpreneure	脳卒中の早期発見
同志社大学	AfterConnect	オンライン仏壇
奈良県立医科大学	MBT感染対策支援コンサルティング	感染対策の助言や実地指導
奈良先端科学技術 大学院大学	amirobo tech	環境知能学的ICTを用いたロボット・アプリ

兵庫県立大学	計算科学研究所	分子動力学シミュレーションの指導・コンサルティング
立命館大学	ARK	閉鎖循環式陸上養殖システム

5. 産学連携シェアオフィスの運営

産学融合拠点のモデルとなる事業として、2022年4月～シェアオフィスの運営を開始している。

利用者	人数
(一社) ライフインテリジェンスコンソーシアム	1名
関西イノベーションイニシャティブ 上級エリアコーディネーター	3名
当法人の客員研究員 (バイオチーム)	1名

【法人管理】公益法人としての適正な運営

理事会を4回、評議員会を2回開催し、公益法人として適法な運営を行った。

第48回理事会	2022/5/26	第1号議案 特定資産積み立ての件 第2号議案 2021年度 事業報告書並びに決算報告書承認の件 第3号議案 2022年度 事業計画一部変更の件 第4号議案 第14回評議員会招集の件 報告事項 職務執行状況報告
第14回評議員会	2022/6/22	第1号議案 2021年度 決算報告書承認の件 第2号議案 評議員2名選任の件 第3号議案 理事1名選任の件 報告事項 2021年度事業報告
第49回理事会	2022/6/22	第1号議案 理事長 選定の件 第2号議案 顧問1名 選任の件 第3号議案 処務規定改訂の件 報告事項 2021年度事業報告等に係る定期提出書類提出の件
第50回理事会	2022/11/8	第1号議案 2022年度事業計画ならびに収支予算見直しの件 報告事項 職務執行状況報告
第51回理事会	2023/3/20	第1号議案 2023年度事業計画書、収支予算書、並びに資金調達及び設備投資の見込みの承認の件 第2号議案 2023年度役員賠償責任保険契約締結の件 第3号議案 第15回評議員会書面開催の件
第15回評議員会 (書面)	2023/3/31	第1号議案 理事 1 名選任の件

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

以 上